



## 平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 クロスプラス株式会社  
コード番号 3320 URL <http://www.crossplus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 大寛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 虫鹿 宏

TEL 052-532-2211

四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	16,871	△9.5	△1,035	—	△1,020	—	△888	—
26年1月期第1四半期	18,644	2.6	△1,692	—	△1,663	—	△1,089	—

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 △1,090百万円 (—%) 26年1月期第1四半期 △665百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	△121.39	—
26年1月期第1四半期	△148.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年1月期第1四半期	34,336	—	13,451	—	39.2	1,838.16
26年1月期	37,202	—	14,614	—	39.3	1,997.16

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 13,451百万円 26年1月期 14,614百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	20.00	—	10.00	30.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	△6.9	△1,900	—	△1,850	—	△1,400	—	△191.31
通期	78,000	△0.6	300	—	400	—	100	—	13.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期1Q	7,718,800 株	26年1月期	7,718,800 株
② 期末自己株式数	27年1月期1Q	400,990 株	26年1月期	400,990 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期1Q	7,317,810 株	26年1月期1Q	7,317,817 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年2月1日～平成26年4月30日）におけるわが国経済は、海外景気の堅調による輸出の増加、政府や日本銀行の各種政策の効果などから、輸出関連企業を中心に収益の改善が見られるなど、国内景気は緩やかな回復を続けています。しかし、当社グループの主要取引先である小売業界では、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその後の落ち込み、消費者の価格意識が根強く残るなど、個人消費は不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、グループの主力である当社製造卸売事業では、為替に影響されない体質作りのもと売上より利益を重視した販売に努めてまいりました。また立て直し中の㈱ヴェント・インターナショナルでは不採算店舗の撤退を進め収益改善に取り組んでまいりました。

製造卸売グループでは、大手得意先向けへの売場提案型トータル企画のPB（プライベートブランド）やライセンスブランドの活用など付加価値を高める販売手法で販売単価アップに取り組みました。一方で単価の低い単品PBや価格帯の低いヤング専門店向け販売の見直しなど採算性を重視した販売を進めたことで売上高は142億87百万円（前年同期比10.3%減）となりました。また、生産面では長期の計画生産に取り組み、アセアンでの生産比率を高めることで原価低減に努め、経費削減では出荷効率改善による物流費の削減を進め収益改善に取り組んでまいりました。

SPAグループでは、ミセスSPA事業は百貨店向け卸売販売の強化を進めたことで増収となりました。またヤングSPA事業の㈱ヴェント・インターナショナルは前期から引き続き不採算店舗の撤退を進め経費削減による利益改善を進めてまいりました。以上の結果、SPAグループの売上高は26億19百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は168億71百万円（前年同期比9.5%減）、営業損益は10億35百万円の損失（前年同期は16億92百万円の営業損失）、経常損益は10億20百万円の損失（前年同期は16億63百万円の経常損失）、四半期純損益は8億88百万円の純損失（前年同期は10億89百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当期より製造卸売グループの百貨店向けPB販売部門をミセスSPA事業に移管しております。また、当社グループは、衣料品事業の単一セグメントでありますので、セグメント情報の記載はしていません。

グループ別、販売チャネル別の売上高は以下のとおりです。

区 分		金額（百万円）	前年同期比（%）	
製造卸売 グループ	量 販 店	6,556	△12.0	
	専 門 店	6,095	△3.9	
	無 店 舗	1,198	△26.0	
	そ の 他	436	△14.9	
	製造卸売グループ 合計	14,287	△10.3	
SPA グループ	ヤングSPA事業	直 営 店	882	△19.9
		そ の 他	366	△1.0
	小 計	1,248	△15.2	
	ミセスSPA事業	直 営 店	665	△8.6
		そ の 他	705	25.6
	小 計	1,370	6.3	
	SPAグループ 合計	2,619	△5.1	
グループ 合計	16,906	△9.5		
消 去	△34	-		
合 計	16,871	△9.5		

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、343億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億65百万円の減少となりました。

流動資産は226億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億16百万円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が24億21百万円減少したことによります。

固定資産は116億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億48百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が94百万円減少したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は208億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億1百万円の減少となりました。

流動負債は180億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億61百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が34億81百万円減少したことによります。

固定負債は28億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億40百万円の減少となりました。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が76百万円減少したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、134億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億63百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は利益剰余金が9億61百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年3月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,533	2,112
受取手形及び売掛金	13,848	13,276
電子記録債権	1,247	721
商品	4,721	5,338
貯蔵品	15	20
その他	1,036	1,218
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	25,399	22,683
固定資産		
有形固定資産	5,557	5,550
無形固定資産	168	192
投資その他の資産		
投資有価証券	3,895	3,800
その他	2,181	2,110
投資その他の資産合計	6,076	5,910
固定資産合計	11,802	11,653
資産合計	37,202	34,336
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,134	11,652
短期借入金	2,300	4,300
1年内返済予定の長期借入金	363	343
未払法人税等	28	6
賞与引当金	92	184
返品調整引当金	62	60
ポイント引当金	37	34
その他	1,573	1,448
流動負債合計	19,591	18,030
固定負債		
長期借入金	1,272	1,196
退職給付引当金	1,074	1,014
役員退職慰労引当金	407	412
その他	241	232
固定負債合計	2,995	2,855
負債合計	22,587	20,885

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	10,087	9,125
自己株式	△532	△532
株主資本合計	13,506	12,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	774
繰延ヘッジ損益	234	114
為替換算調整勘定	30	17
その他の包括利益累計額合計	1,108	906
純資産合計	14,614	13,451
負債純資産合計	37,202	34,336

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	18,644	16,871
売上原価	15,729	13,628
売上総利益	2,914	3,243
返品調整引当金戻入額	100	62
返品調整引当金繰入額	49	60
差引売上総利益	2,966	3,245
販売費及び一般管理費	4,659	4,280
営業損失(△)	△1,692	△1,035
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	8	9
為替差益	14	—
受取家賃	17	17
その他	15	10
営業外収益合計	59	41
営業外費用		
支払利息	4	8
貸貸収入原価	17	11
その他	8	7
営業外費用合計	30	27
経常損失(△)	△1,663	△1,020
特別利益		
固定資産売却益	185	—
特別利益合計	185	—
特別損失		
減損損失	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,478	△1,029
法人税、住民税及び事業税	5	6
法人税等調整額	△393	△147
法人税等合計	△388	△141
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,089	△888
四半期純損失(△)	△1,089	△888



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,089	△888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	403	△68
繰延ヘッジ損益	5	△120
為替換算調整勘定	14	△13
その他の包括利益合計	424	△202
四半期包括利益	△665	△1,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△665	△1,090
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。